

皆さん、6月です。

皆さん、6月です。今月末には、令和元年も半分が過ぎてしまうのですよ、覚悟出来ていますか？小生にとって6月は悲しい月です。と言いますのは、夏至が有るからです。夏至を境にして、日の出は遅くなるし、日没は逆に早くなるのです。今年は、22日です。朝の運動に大きく響きますが、これまで70年余も過ぎて来たのですから、今更気になる事は無いのですが……。年を重ねた者の愚痴でしょうか？



またまた自然の怒りですか？屋久杉で有名な屋久島で50年に一度の大雨により、300人余りの登山者が下山出来ずに、救助隊によって助け出されました。流れ落ちる濁流の中を、ロープにつかまって下山する映像が流れました。气象台からの警報は出ていたのにも係わらず、登山に踏み切った地元のガイドや登山者自身の責任は厳しく問われなければ成らないでしょう。一方で、ダムが干上がってしまった東海地方の事も報じられておりました。梅雨を前にした季節なのだと思います。吾妻山や箱根山の噴火等多くの予知出来ない危険に対処する為にも、より多くの情報を取り入れ、警戒心をフルに動員して人に迷惑を掛けないような行動を取るべきでしょう。



高齢化社会に於ける認知症対策として、『認知症予防』を柱とする大綱素案が先月半ばに出されました。“共生”を目標にした4年前の戦略に代わり、『認知症になってからも自分らしく暮らせる社会の実現』を掲げました。予防は難しいものと考えますが、詳しくは、次号にします。

先月には気温が25℃を超える夏日や一桁に下降する日が続いたり、体調管理がなかなか難しかったのではないのでしょうか。今後も極端な気温変化が出る可能性はあるでしょうし、梅雨の時期にもなります。過労や不眠等をうまく乗り越え、この難関な時期を“笑顔”で過しましょう。

平成31年6月7日 院長 清治 邦夫